

「民主主義取り戻そう」

雨の中、青年らデモ

仙台



宮城県の青年たちが「民主主義を取り戻そう」行いました。雨の中、8日、仙台市内で「民主」と訴える集会・デモを34人が「未来は僕らが

つくっていく」「強行採決忘れない」「野党は共闘」と元気よくアピールしました。

集会では、みやぎ青年9条の会・KIRA KIRA☆9の女性が「主権者は私たちだと元気にアピールしよう」と呼びかけました。

SEALDS TO HOKU(シールズ東北)、安保関連法に反対するママの会、みやぎ憲法9条の会、安保関連法案に反対する被災3県大学教員有志の会の代表が、連帯あいさつしました。

大学教職員有志の会 共同代表の一人、郭基煥(かく・きかん)東北学院大学教授は、「仕方がない」と強行採決を黙認するのか、「市民的不服従の精神」で声を上げ続けるのか、いま試練の時が来ていると強調。「震災で多くの大切な命を失ったこの地だから、『命の尊厳』を訴えること、戦争法廃止を求めることが、私たちの責任だ」と訴えました。

雨が降りしきる一番町商店街を行進する参加者(8日、仙台市)